

# Inquisitor Insult

異端審問姦シギィ



成年向  
FOR ADULT ONLY

# Inquisitor Insult

異端審問姦シギイ



Inquisitor  
Insult

異端審問卷第1



いっ♡いっのおっ♡  
そこっ…もっ♡、もっ♡  
突いてえええっ♡

まっ…またイクッ  
イツてしまっ♡

あー♡



ああああ  
イウウウウ

アハハハ

はああ  
あはあ  
あはあ

私の子宮に子種  
いっばい出されてる  
ううううう

あ  
アハハハ

アハハハ  
アハハハ  
アハハハ



アハハハ

ヒヒヒ、あつちは  
かなり盛り上がってる  
ようだぜ。

あんなにやがりまくって  
イキ顔さらしてやがる  
こっちは大変なのになあ

アハハハ

アハハハ



どうだい  
シスター  
異端審問官、  
気分の方は？

神様なんかじゃ全然  
与えてくれねえ快樂を  
たっぷり与えてやってるんだ

んんん♡



気持ちよすぎて  
声もだせねえってかあ？  
ヒヤハハハハッ！

こ…この私がこのような  
辱めを受けるなんて  
あの時、私が油断さえ  
していなければ—

んんん♡

しゅるるる♡

しゅるるる♡

私「異端審問官シギイ」は  
この辺境にいる邪教の権化  
「沼地の魔女」の討伐に  
乗り出した。

沼地の魔女の手下である  
他の美闘士達は、私の  
力の前にことごとく  
敗れ去っていった——

しかし、それは  
沼地の魔女の策略で  
いままでの戦闘で体力を  
使い果たしていた私は  
あえなく  
敗れてしまった……

私は死を覚悟した。  
だが沼地の魔女は私を  
生かした。それは  
死よりも辛い生き恥を  
晒させるためだった——





ハッ



ハッ

ハッ

ハッ



んん...ん?  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ

んん...ん?  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ

んん...ん?  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ

んん...ん?  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ



も...も...やめし...!

やめろおおっ!

だ、だめだっ! 又、  
またイクツ! イツてしまっ!...

またイクウウウ  
ウウウウウウウウ

ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ  
ハッ



なっ…何を  
やっているのです  
貴方たちっ!!

はっ!!

今すぐ、その破廉恥な  
行いをやめなさいっ!!  
さもないと

なっ…!!

は!

こ…これは!?

ようやくお目覚め  
だな、シスター!

!!

貴方は一体…  
それに、こは!?

俺様は「調教師  
ドグラ」様だ。

それよりもあれを  
見な、シスター!

ズイッ

アレが未来の  
お前の姿だよ。

なっ…何を  
馬鹿な事をつ!!

あんなふしたらな  
するはずが  
ありません!!

それはどうかかな?  
ブランウエンも同じ事を  
言ってたが、あの様だ。

どれだけ強くても  
女の快楽からは逃げられない  
ようになってんのさ。

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡



ちなみにあいつは  
元竜闘士っていう  
一流の戦士だったんだぜ

まさか、自分の武器も  
無いのに、ここから  
逃げ出せると思って  
ねえだろうなあ？

どうだい、すげえ  
乱れっぷりだったろ？  
最初の頃は必死に  
我慢してやがったが、

いったん墮ちちまえば  
あとは坂道を  
転げ落ちるように  
恥態を晒してくれたぜ。



たとえ神罰の杖が  
無くとも…

あん？



偉大なる神の力を  
思い知らなさい—

この私の身  
一つあれば

貴方達を相手する事  
など造作もありません



破邪!!

聖なるポーズツ!!

ポーン...



…なんてな♪

まぶしいっ!!  
なんだこの光はっ!?

ぐおっ!!

||| アア アア

ニイイイ



な…  
なに…!?

え…?

ピク

||| イイイ

||| イイイ



な…なに!! 急に  
身体が火照って…  
しかもアソコが  
疼いて—

はっ!!  
あぁあぁっ♡

はっ!!

はっ!!

あっ!!



どうした、俺様を  
懲らしめるんじや  
無かったのか、  
シスター？  
それとも俺様を  
誘惑したかったのかい？

ちっ…違いますっ  
違うんですっこれは…

あぁあぁっ♡



ははっ、種明かしして  
やると、シスターの異変は  
その首輪のせいさ!!  
なんでも、そいつは  
聖なる力とやらを性感に  
変えるらしいぜ。

な…  
なんですって!!

そんなバカな事が…  
あぁっ♡ワ…ワソです  
うううううっ♡♡

アイッ♡



くっ……くっ♡

こ…このような事で  
神の力が屈するはず  
ありませんっ!!

こんなっ…かつ…快感  
ごときがいいっ…♡



なら神の力とやらで  
打ち破って見せろよ。

いつ…言われ  
なくてモッ…

くっ♡  
くっ♡  
くっ♡  
くっ♡



この程度の苦難  
乗り切ってみせっ…  
んんんんっ♡

かつ…神よ、私に力を  
お与えくださいまし  
いいいいいいっ♡



せ…聖なるポーズ  
「束縛」——っ♡

神の力を持ってすれば  
このような禍々しい  
呪いなど——

か…感じてなどいませんっ  
このような馬鹿げた  
首輪の呪いなどすぐに  
打ち破って見せなければ…

ん…♡  
ん…♡

せ：聖なるっ♥ポーズ：  
しっ：「審判」んんんっ♥

て：でもこの疼きっ♥  
聖なるポーズをとれば  
とるほど激しくなっ：

そ：そんなはず  
ありませんっ!! そんな  
冒険的な事あるはずが：

そっ：そっです!!  
神の力は偉大なのですっ  
こんな事で遠絶えたり  
するはずありません：

てっ、聖なるポーズっ：  
てっ「天罰」うううっ♥

ガクガク...

ああっ...♥

あるはずないのにっ...ほほ  
こんなっ...ふ...ふしだらな  
気持ちになるはず無いのにっ  
どっ...どうして—

聖なるポーズっ...♥  
「歓喜」っ...いいいいっ♥

せ：聖♥なるっ♥  
ポーズっうううっ♥  
「悔悟」おおおっ♥

どうして、こんなに身体が  
反応してしまうのですかっ♥  
か：神よっ...なぜおんえ  
下さらないのですかあっ♥

たゅん♥

いえ…これは私の信仰が  
足りないせい…きつと  
そくに違いありませんっ  
だから、もっと…もっと…

この聖なるポーズを続け  
なければ…が、神の力を  
得るために…きつと、  
神の、神の力をおおつっ♡

せい…なる…ポーズっ  
ふっ…ふうっっ♡♡

ふっ♡「福音」んん  
んんんんんんんんん♡♡

きゅん♡

沼地の魔女様特製の  
こいつらに—

その敏感になった  
肢体をたつぷり  
可愛がってもらいな  
シスター♪

おらいケツ  
てめえらっ!!

そろそろ、シスターの  
体も温まってきた  
ようだし

こいつの出番だな…

ざらざら…

おんんんん…

ゴッゴッ

ポッ

ドッ

ドッドッ!!





なんですかつ...  
これはつ!!

なっ!!  
!?

きつ...気持ち悪いのが  
這いずり回って...

ゆるるるる

ゆるるるる

はぁあぁあ

はぁあぁあ

はぁあぁあ

はぁあぁあ

はぁあぁあ

はぁあぁあ

はぁあぁあ



はっ…放しなさいっ  
穢らわしいっ!!

このような物共で  
私の自由を奪えろと  
思ったら大間違いですよ

くっ…こっ…つなつたり  
聖なる炎でまとめて  
火あぶりにして差し上げますっ

なっ!? なにをっ!?  
やっ…やめなさいっ!! そこは  
神聖な場所…お前のような  
下等生物が触れていい場所ではっ…

そっ…そんな恥ずかしい音を  
立てて吸わないでください  
いいいいいいっっっっっ♥♥♥





そ…そのような事  
あるはずないでしょうっ!!  
で…でも、今…声を  
出してしまっ—

んんん♡

ぐへへっいい声出すじゃ  
ねえか。貞淑なツラして  
結構な好き者なのかい？

こ…このような下等  
生物にいいようにされる  
なんて…屈辱ですわ…



ああっ!?

そ…そんな…

ピッ!

まだ物足りなさそうな顔  
してやがる。ほら、  
こっちにも付けてやるぜ



火照った体にや  
いい感じの刺激だろう？  
たっぷりなめ回して  
もらいな

ヒゅるる♡

ヒゅるる♡

ピッ!



このよじな...♡♡♡♡♡

この...よじな...事でえ♡



おほおほお♡♡

ジュッジュッジュッ♡

ジュッジュッ♡ジュッジュッ♡

ジュッジュッ♡





あれから6時間か。結構  
頑張るじゃねえか、シスター！  
もう何度イケなかったん  
だろうなあ？

んんん♡き…気が遠く  
なるほど責められて…  
イケなくて…このままでは  
気が狂ってしまいそうです…♡

いつその事…も、もう  
察になつてしまいたい…  
そう思つてしまふ…そんな  
墮落、許されるはずも  
ないのに…♡



それに比べて  
あつちはあんなに  
ハデにイッてやがる



あんなアへ顔晒して  
よかってやがる。どうだろ  
うらやましいだらうっ。

— しません。

あん？



神の代理人である私が  
あの女のように快楽に  
溺れたりすることは  
ありません!!





はぁぁぁ♡

ん♡

ア  
ア  
ア  
ア  
ア



あっ!!

ん!!

あ♡

まっ：待ちなさいっ!!  
そのような不埒な行為、  
決して神がお許しに  
なるはずが——

ん♡

ん♡

ア  
ア  
ア



はっ♡入ってきたあつ♡  
神に捧げた純潔が  
このような下等生物に  
奪われるなんてえええっ♡

そ…それに初めてのはず  
なのにっ…こんなに感じて  
しまうなんてっ♡わ…  
私の体はどうしてしまっ  
たというのですかあつ♡

そっ…そんなに  
いっべんに入ってこないでっ!!

あああつ♡かっ…  
かきまわさないでええええっ♡



そっ…そっっ♡子宮  
赤ちゃんの場所っ♡

そんなに激しく叩いちゃ  
だめっ…だめええっ!!

ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡

しっ♡子宮の中まで  
犯されるなんてえええっ♡  
ああっ、なぜ  
イケないのおおおっ♡



♡



子宮の中も直腸も  
めちやくちやに  
されてるううっっ♡  
こっ♡壊れるっ♡  
壊されてしまっうっっ♡

こ…このような淫獄も  
神の与えし試練だと  
いうのですか!! ああっ♡  
こ、このようなあぁっっ♡

それならば、どうが、どうか  
私にこの困難を乗り越える  
力をお与えくださいまし…!!  
でない…でない…!!  
でないといわたくしはあっ♡

このスイッチを押すと  
その首輪の効力が  
切れるようになってる。  
どういうことかわかるか?

よう、随分と  
艶っぽいツラになったな  
シスター?

チンコ触手も  
ご堪能いただいた  
ところでちよっとして  
賭けをしようぜ





あー!!

せー♡



さま、とつちを道流か  
ゲーム開始だ。

せ…聖なる…  
力を…神よ…こんな  
絶頂などに負けない、  
聖なる力を—



つまり思う存分イキまくる  
事も出来るし、お前の言う神様  
とやらの聖なる力を  
使う事も出来る。

はあ…  
はあ…



はああ♡

イツ♡ イクツ♡  
ううううううううう  
ううううううううう



あー♡

いとまのがとまらない♡  
いまのつない♡とめられない  
せい…つ…せい…  
イク…イク…  
うめえ…  
ううううううう

あー♡

イクたびにイッてるっ♡  
イッてるのにまた  
イクううううううっ♡  
イクっぱなしから降りて  
こられないいいっ♡

しっ♡信じられないっ♡  
こ、このような快楽が  
この世にあつたなんてえっ♡  
あああつ、すっ…  
すごいいいいいっ♡

おおおおっ♡

おちゅ♡

おっ♡おっ♡

おちゅ♡  
おちゅ♡  
おちゅ♡



な?! まさか?!  
しゅ…射精っ?! そんな…  
今、子宮に出されたら、  
私…!!

まっ…待って  
待ってくださいっ!!  
お願いっ、それだけは  
許してえええっ!!



おちゅ♡

クッ  
クッ  
クッ

おちゅ♡



ならば、これこそが神い...  
 精液こそ聖なる力ですわっ♡  
 おっ♡オチンポ最高  
 おおおおおっ♡



—が…神よっ♡  
 こっ…これが社の姫ひ、  
 社の幸せというもの  
 な…です…が♡  
 な、ならば…ならばあっ♡



シ：シギイ：お主  
どういうつもりじゃ  
女王陛下に逆らうとは

気でも狂ったか!?



ユーミルさん：  
私、気づきましたの  
この世界で信じるのは

神などでは無いという  
事を……。そう、  
この世で信じるのは



この世で信じられるのは  
沼地の魔女様だけ  
それに仇なす者は

快樂の炎で  
火あぶりにして  
差し上げますわ♪

あの素晴らしい体験を  
この世に広める事こそ  
今の私の生きがい。  
沼地の魔女様、  
感謝いたしますわ♥

Inquisitor  
Insult

異端審問者斗老

あとがき

どうも、B-RIVER ですー。  
今回は、クイーンズブレイドリベリオンから  
けしからんシスター、シギィさんの本になりましたー。  
アニメとが原作の設定とがやや無視してる感じで  
作ってしまいましたが、お口に合えば幸いですー。  
もう少し色々やりようあったのにーと、描いてから気付く事が  
多すぎたりして、やや後悔してたり；  
まあ、アニメはエロエロで好きですけどね！(w)  
思った以上にアンネロッテが可愛かったりして  
楽しんで見てますー。

(それとは別に、ちよいとモバマスのやりすぎで  
色々ピンチになってしまったのは、内緒w)

今回も色々と助けていただきましたアシの方々  
瀬上大輔さん、どぶねずみさん、アレグロさん、  
まるぼろらいとさん。どうもありがとうございましたー！  
マジ感謝してますー。  
それと、いつも助けてもらってる高橋良喜の旦那。  
毎度サンクスですw いや、ホント助かってるよー！

さて、いつもなら次は夏コミ…、と言う所ですが  
もしかするとモバマスのオンリーイベントに参加してるかも。  
B105cmのおぱいを搾乳してみたい衝動に駆られてたりしてますw

では、また次の本でお会いしましょうー。

奥付：「Inquisitor Insult 異端審問詰シギイ」

発行：H・B 代表：B-RIVER 初版：2012.4.30

印刷：(株) サンライズ

メール：hb\_river@yahoo.co.jp      HP：<http://www.palette-e.com/>

\*本作品の無断転載（ネット含む）、及び未成年の閲覧、購入を固く禁じます



